



▲新聞を使った学習を行う楠目小学校の6年生

楠目小学校では、『高い志を持ち、全国水準以上の学力を身に付けた児童の育成』という研究主題を掲げ、道徳と国語科を中核に、日々の実践に取り組んできました。

この取り組みの中で明確になってきたことは「国語も算数も、限られた条件の下で、意見や考え方を、十分な根拠を示しながら説明することや、書くことに課題がある」ということです。特に、本校の児童は、国語科の説明文の読解で、目的や意図に応じて、情報を正確に取り出すことや、意見を構築することが、やや苦手であるということが分かりました。

その原因としては、子どもたちの読書傾向として、物語や漫画が語文や漫画が多いこと、インターネットの普及で新聞を購読していない家庭が増え、子どもたちの日常生活の中で説明文を読む機会が少ないという考えられました。

そこで、今年度は、もっと説明的な文章を読みこなす機会を多くするため、学校などで新聞を教材として活用する日本新聞協会のNIE推進事業実践校として研究指定を受けました。この事業の最大のメリットは、4カ月間、地元紙と全国紙5社の新聞が無料で配布されることです。今年度は初年度ということもあり、児童が新聞に興味関心を持てるような環境整備に力を入れました。朝の読書や休み時間に新聞を広げてもらえるように、各学年の教室前にある多目的ホルダーに、NIEコーナーを設置しました。また、各社の同じ記事を読み比べ、見出しや写真の違いのまとめ、子ども新聞を階段踊り場などに開示し、あらゆる場所で新聞が目に見える環境を作りしました。新聞を活用した授業も行い、NIE推進事業に取り組んでいます。国語は全ての教科の基礎。児童の日常生活が、豊かな『ことば』にあふれた環境になるよう努力したいと思います。(楠目小学校)

新聞を活用した国語教育

楠目小学校

楠目小の「NIE推進事業」の取り組み

児童が新聞に慣れ親しむ取り組み

【低学年】

新聞からひらがなやカタカナを探したり、先生の読み聞かせを聞いたりする活動。

【中学年】

新聞から、自分が好きな記事や写真を選択し、その理由を簡単に記述したり、スピーチしたりする活動。

【高学年】

新聞広告等を使ったクイズに答える活動。

必要な情報を取り出す力を鍛える取り組み

【中学年】

新聞社が発行するワークシートや、教員が手作りのワークシート等を用いて、問いに対して正確に答える力を鍛える学習。

【高学年】

新聞のコラムを読み、その文章から、文中のキーワードを見抜き、タイトルをあてることを通して、要約力を鍛える学習。

学習のまとめや長期休暇の体験を表現する取り組み

【中・高学年】

新聞記者から、レイアウトや文章の書き方について学び、新聞づくりをする学習。夏休み新聞、修学旅行新聞、米づくり新聞、防災新聞など。

【6年生】

国語科『新聞の投書を読み比べよう』で、読み手を説得するための工夫を学んだ後に、新聞へ投稿する学習。

香美市のさらなる発展を目指して



香美市長

かどやま まさひろ

門脇 槇夫

新年あけましておめでとうございます。昨年中は市政に対しまして何かとご指導、ご協力をいただきましたこと心から感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、自民党権はデフレ脱却を目指した経済対策を行い、昨今の景気は回復傾向にあるとの意見も聞かれ、国民は経済好転に大きな期待を寄せております。

一方、法改正等については重要法案が次々と成立しました。とりわけ、消費税増税については、国民の負担が増す中で、本来の目的である社会保障の充実をしっかりと行い、皆様が社会保障の改善を実感されながら、納得して納税をしていただける政策を行わなければならないと考えます。

本市においても、本年は大きな節目の年です。次代の二一五に対応できるように、これまでの体制を改め、防災対策強化や定住人口の増加策などを積極的に行うことで、本市のさらなる発展を推進してまいります。私自身も残された任期に全力を傾注し、市民の皆様方の安全で安心な生活を守ることを念頭に、健全な行政運営を行ってまいりますので一層のご協力をお願い申し上げます。

皆様方にとつて躍動に満ちた一年となりますようご祈念し、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

今年こそ躍動する

まちづくりの推進を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様方には、ご健勝で輝かしい新年をお迎えにいられたことと、市議会を代表し心からお慶びを申し上げます。

昨年は異常な暑さが続き、県内の四万十市江川崎では41.0度と国内新記録をはじめ、35度以上の猛暑日が36日間観測されるなど、記録的な猛暑が続き、雨量も平年夏の4分の1程度で農作物にも被害が及ぶ状況でありました。

本市も、この3月1日で誕生から8年が経過しますが、人口減少に歯止めがきかない状況が続いています。議会としても、この問題を重要課題と捉え、定住人口増加促進特別委員会を設

置し「香美市に住みたい」「住んで良かった」と思ってもらえるための政策課題について、調査・研究に取り組んでいます。今年も議会として、教育や福祉の充実、農林業の振興、商工業・伝統産業の発展に向けて、市民のニーズに応え、議決機関として、公平で公正な議会運営に努めてまいります。

今年が市民の皆様にとつて、ご多幸で平和な年でありますようにご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



香美市議会議長

にしむら よしひろ
西村 芳成